

Ⅱ 結果の内容

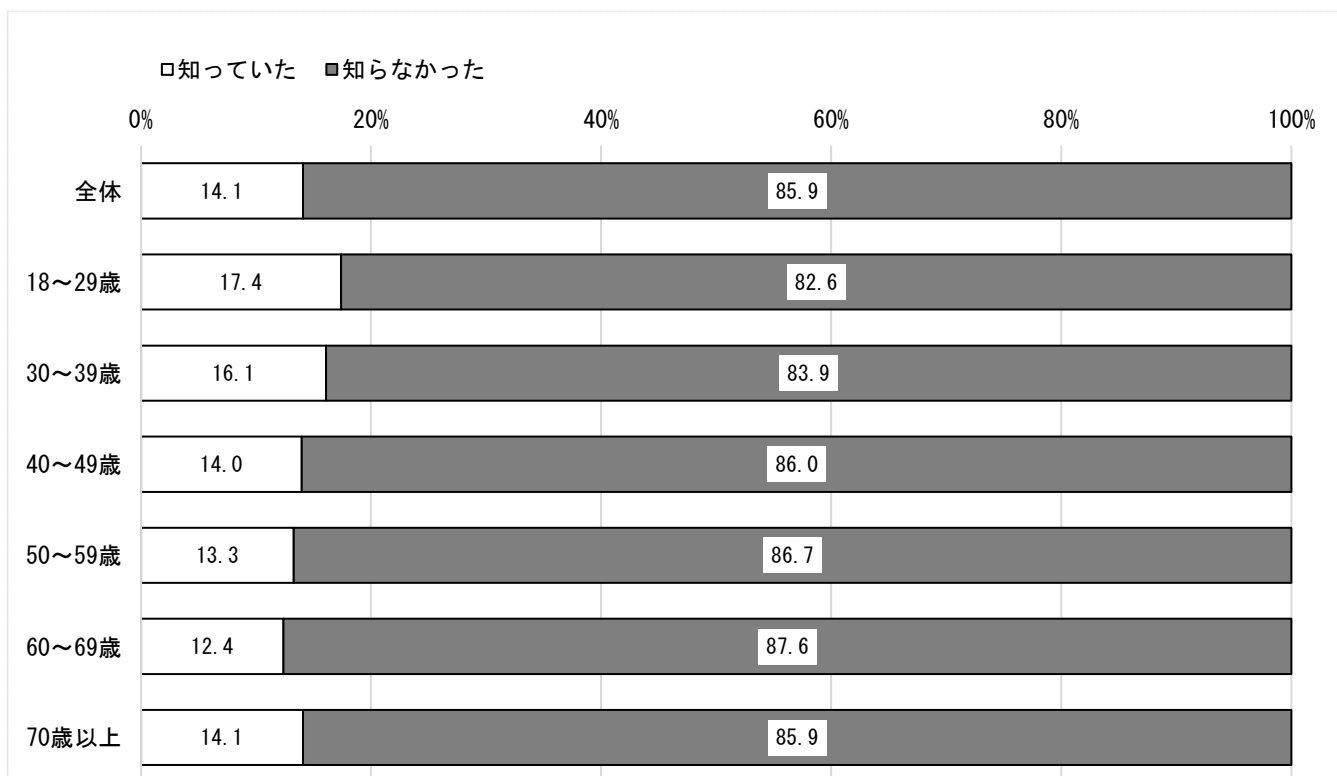
《沖縄県との交流連携について》

＜沖縄県との交流連携協定の認知度＞
「知らなかった」が全体の8割超

問1 あなたは、長野県と沖縄県が交流連携協定を締結していることを知っていましたか。
当てはまるものを選んでください。

	n=1,000	回答数 (人)	割合 (%)
知っていた		141	14.1
知らなかった		859	85.9

●「知らなかった」が全体の85.9%となっている。年代別でも、全年代で「知らなかった」が8割超から9割弱となっている。

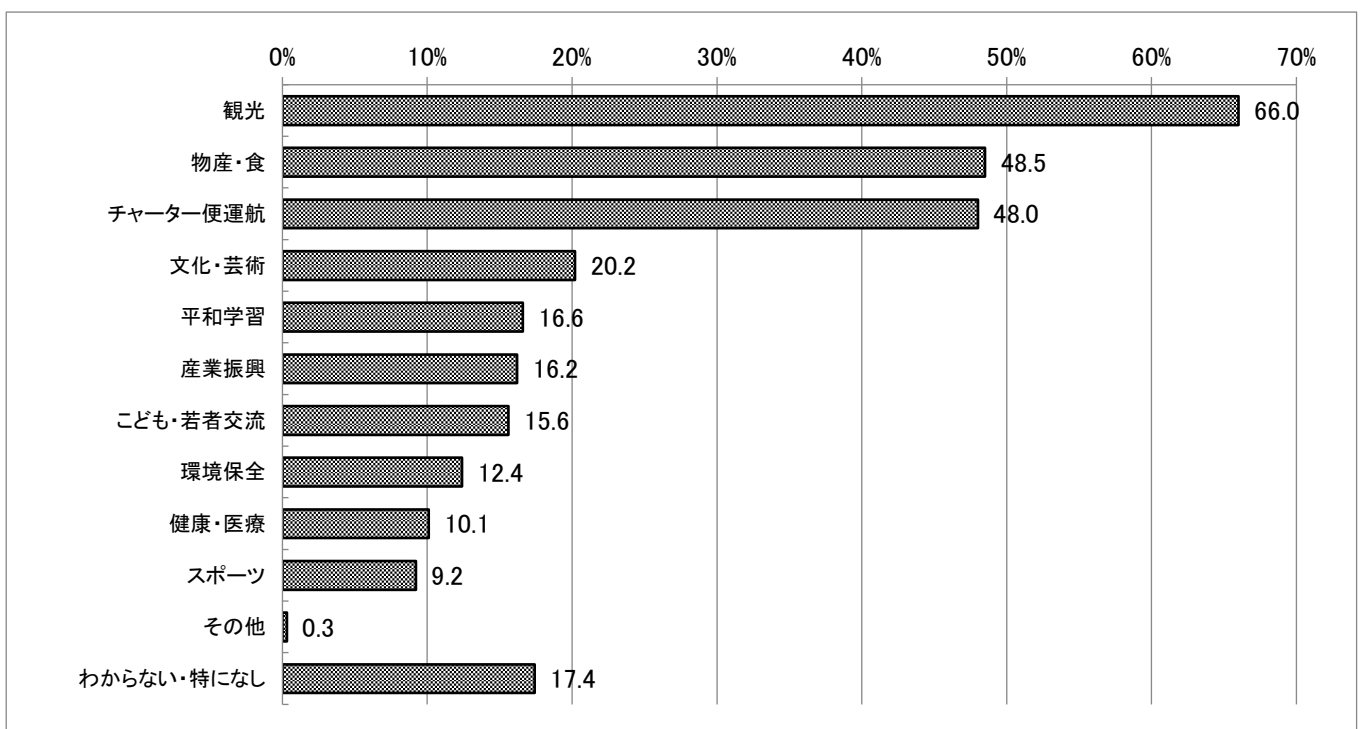


＜沖縄県との交流連携に期待する分野＞
 「観光」が7割弱、「物産・食」「チャーター便運航」が約5割

問2 あなたが、長野県と沖縄県の交流連携に期待する分野は何ですか。
 当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	n=1,000	回答数(人)	割合(%)
観光		660	66.0
物産・食		485	48.5
チャーター便運航		480	48.0
文化・芸術		202	20.2
平和学習		166	16.6
産業振興		162	16.2
子ども・若者交流		156	15.6
環境保全		124	12.4
健康・医療		101	10.1
スポーツ		92	9.2
その他		3	0.3
わからない・特になし		174	17.4

●「観光」が66.0%と最も高く、次に「物産・食」(48.5%)、「チャーター便運航」(48.0%)、「文化・芸術」(20.2%)、平和学習(16.6%)と続いている。



＜沖縄県との交流連携へのご意見＞

問3 長野県と沖縄県の交流連携に具体的に期待することやご意見等あればご自由にお書きください。

	n= 1000	回答数 (人)	割合 (%)
意見数		616	61.6

主な回答は以下のとおり（一部抜粋）。

- 交流連携への期待に関するご意見
 - ・海のない長野県民として、自然の海の恵みに触れることができる沖縄に大きな興味がある。
 - ・高校生の修学旅行は、沖縄県でした。ひめゆりの塔とか、衝撃的だったと子供たちは、感じた様です。このまま、交流して欲しいです。
- イベント等企画に関するご意見
 - ・産業、観光、文化・芸術等のあらゆる分野で、それぞれ具体的なテーマを決めて、沢山の人が関わられるような企画をお願いしたい。それには行政の大きな支援も欠かせないので予算取りもお願いしたい。
 - ・長野県内のスーパーなどで、随時沖縄の食べ物を販売したり催し物としてオリンピック施設で物産展をやってほしい。よくあるものだけでなく、珍しい焼き物や沖縄でしか手に入れなかったアパレルなどもあるといい。沖縄では長野のスキー場や温泉施設を存分にアピールして欲しい。
- チャーター便の運航等交通アクセスに関するご意見
 - ・チャーター便が出て、松本から直行できるようになれば沖縄への距離がかなり近くなり何度でも行ってみたいと思う。沖縄から各島々へも気軽に行かれるようになるので嬉しい。
 - ・松本から沖縄へ行くのは、とても大変なので、チャーター便で、多くの人達の行き交いがあれば、より交流が深まると思う。
- 情報発信・その他に関するご意見
 - ・信州から、暖かい沖縄に観光等で伺うのはとても有難いと思っています。周囲の方たちは沖縄に行かれる方が少ないように見受けられます。もう少し宣伝に力を入れたら、と思います。
 - ・交流連携していることを知らなかったのもっと周知してほしい。物流や人流が活発化することを期待したい。
 - ・交流連携先が沖縄県である理由がわからない。

《人権に関する意識について》

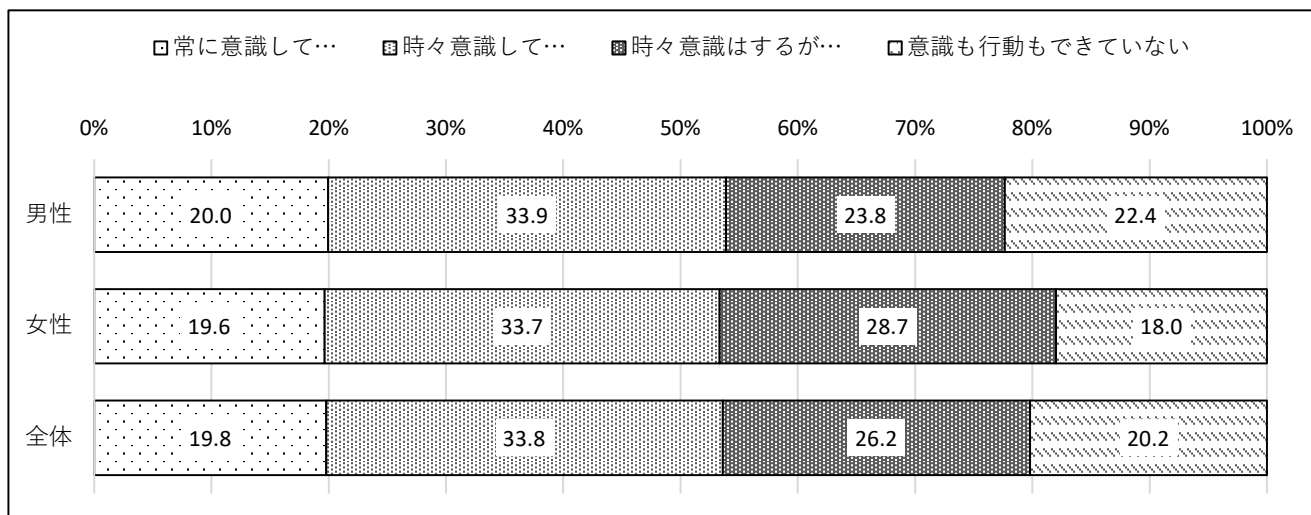
＜人権を尊重する意識の状況＞

「常に意識して行動している」と「時々意識して行動している」が合わせて5割超

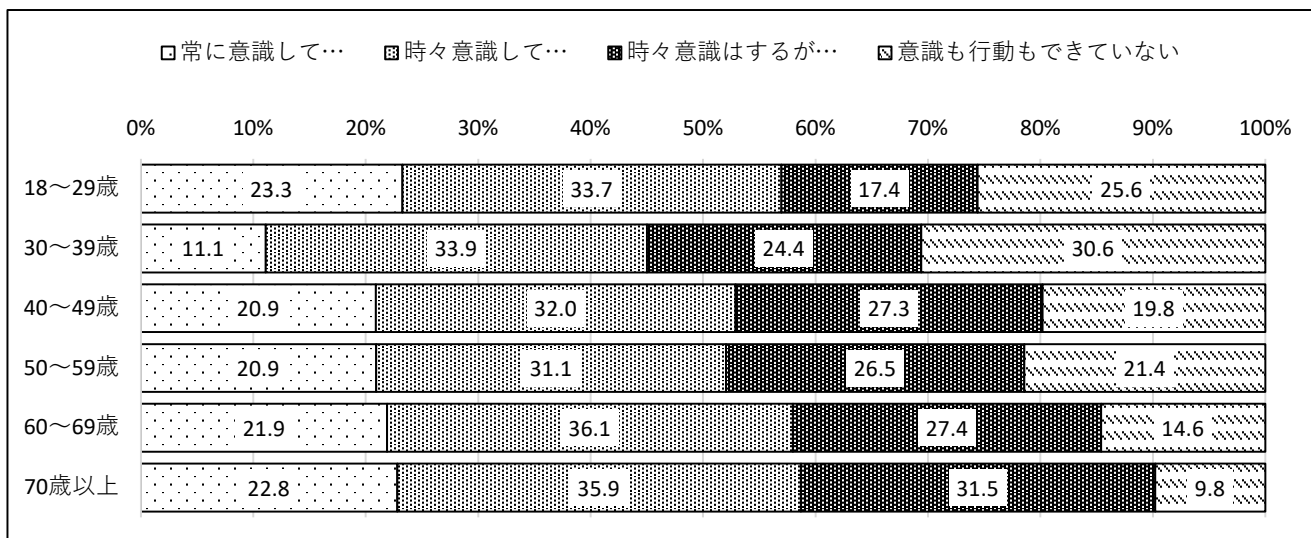
問4 あなたは、他者の人権を尊重することについて、普段から意識して行動していますか。当てはまるものを選んでください。

	今回調査 n=1,000		(参考) R5.1県政モニター アンケート調査n=822	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
常に意識して行動している	198	19.8	386	47.0
時々意識して行動している	338	33.8	248	30.2
時々意識はするが、行動につなげていない	262	26.2	149	18.1
意識も行動もできていない	202	20.2	23	2.8

- 「常に意識して行動している」、「時々意識して行動している」を合わせた割合は53.6%となっている。
- 男女別では、「常に意識して行動している」、「時々意識して行動している」に大きな差は見られない。



- 年代別では、「常に意識して行動している」、「時々意識して行動している」を合わせた割合が最も高いのは70歳以上(58.7%)、「時々意識はするが、行動につなげていない」、「意識も行動もできていない」を合わせた割合が最も高いのは30代(55.0%)となっている。

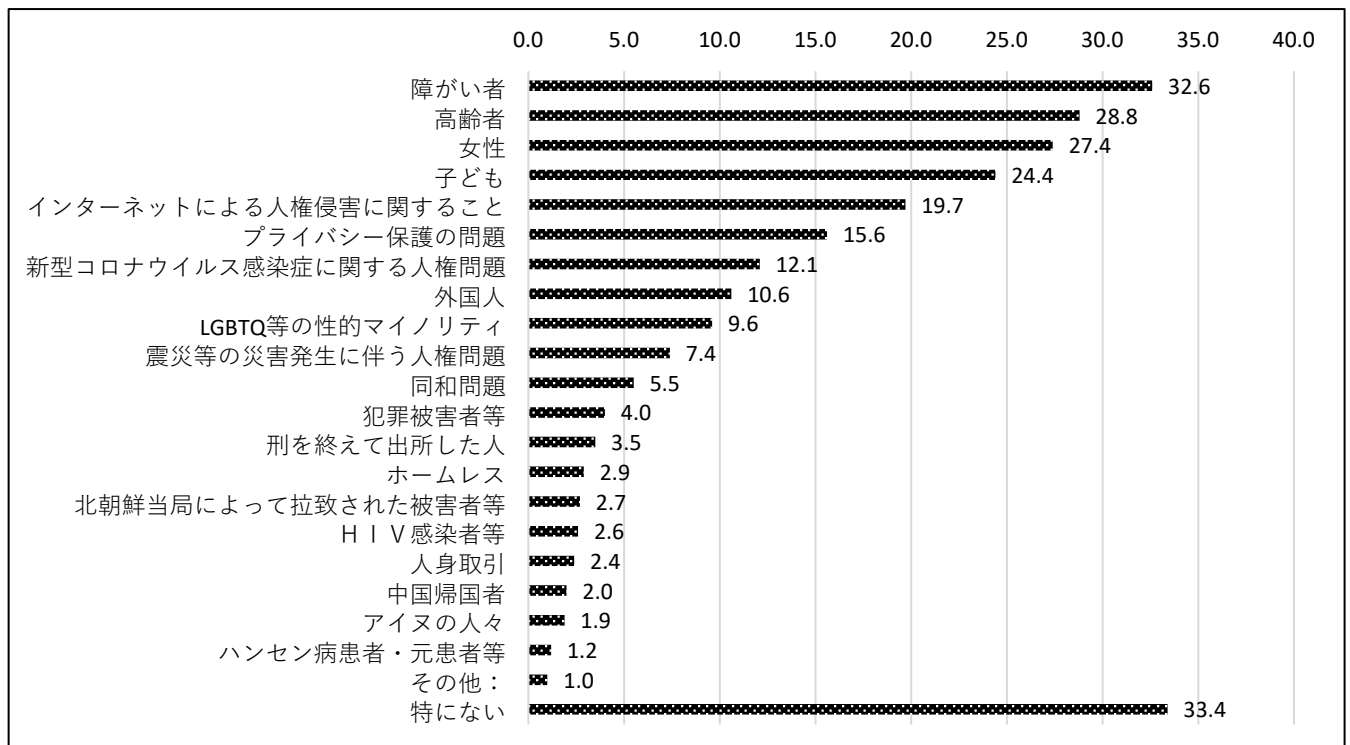


＜身近で起きている人権問題＞
「障がい者に関すること」が3割超、「高齢者に関すること」が約3割

問5 あなたの身の回りで起きている身近な人権問題は何ですか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=1000		(参考)R5.1県政モニターアンケート調査n=822	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
障がい者に関すること	326	32.6	342	41.6
高齢者に関すること	288	28.8	288	35.0
女性に関すること	274	27.4	233	28.4
子どもに関すること	244	24.4	188	22.9
インターネットによる人権侵害に関すること	197	19.7	178	21.7
プライバシー保護の問題に関すること	156	15.6	200	24.3
新型コロナウイルス感染症に関する人権問題(不当な取扱いや誹謗中傷)に関すること	121	12.1	171	20.8
外国人に関すること	106	10.6	80	9.7
LGBTQ等の性的マイノリティに関すること	96	9.6	87	10.6
震災等の災害発生に伴う人権問題に関すること	74	7.4	14	1.7
同和問題に関すること	55	5.5	65	7.9
犯罪被害者等に関すること	40	4.0	27	3.3
刑を終えて出所した人に関すること	35	3.5	24	2.9
ホームレスに関すること	29	2.9	25	3.0
北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関すること	27	2.7	31	3.8
HIV感染者等に関すること	26	2.6	12	1.5
人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)に関すること	24	2.4	22	2.7
中国帰国者(永住帰国した中国残留邦人等)に関すること	20	2.0	14	1.7
アイヌの人々に関すること	19	1.9	9	1.1
ハンセン病患者・元患者等に関すること	12	1.2	9	1.1
その他	10	1.0	17	2.1
特になし	334	33.4	180	21.9

●「障がい者に関すること」が32.6%と最も高く、次に「高齢者に関すること」(28.8%)、「女性に関すること」(27.4%)と続いている。



「その他」としては、「県外からの移住者に対する差別」「よそ者扱い」等の回答が見られた。

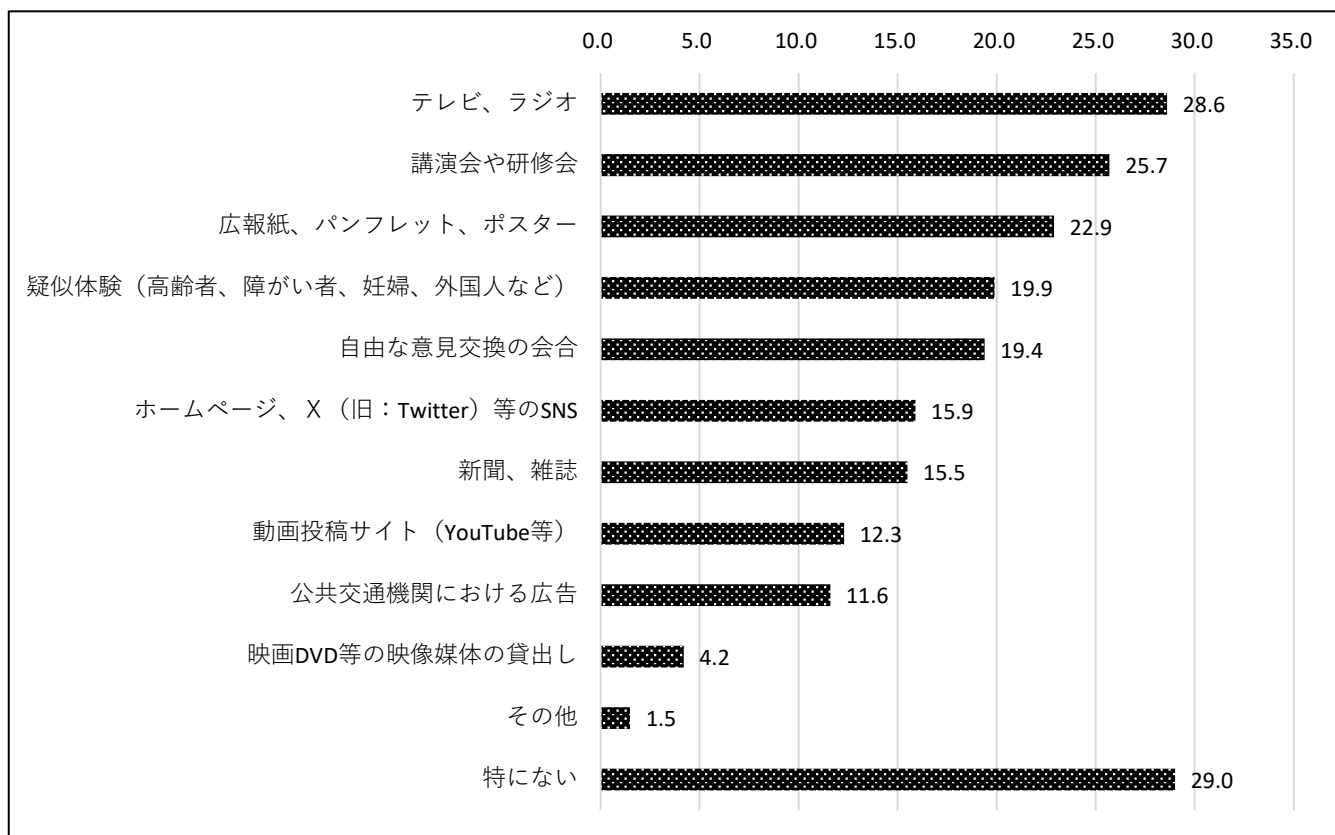
＜効果的な人権啓発方法＞

「テレビ、ラジオ」が約3割、「講演会や研修会」、「広報紙、パンフレット、ポスター」が2割超

問6 あなたは、人権の啓発に当たり、県はどのような啓発広報活動を行うことが効果的だと思いますか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	n=1,000	回答数 (人)	割合 (%)
テレビ、ラジオ		286	28.6
講演会や研修会		257	25.7
広報紙、パンフレット、ポスター		229	22.9
疑似体験(高齢者、障がい者、妊婦、外国人など)		199	19.9
自由な意見交換の会合(ワークショップ(専門家を交えた少人数の意見交換・討論)、交流会など)		194	19.4
ホームページ、X(旧:Twitter)等のSNS		159	15.9
新聞、雑誌		155	15.5
動画投稿サイト(Youtube等)		123	12.3
公共交通機関における広告(電車やバス等の車内広告、駅での広告)		116	11.6
映画DVD等の映像媒体の貸出し		42	4.2
その他		15	1.5
特にない		290	29.0

●「テレビ、ラジオ」が28.6%と最も高く、次に「講演会や研修会」(25.7%)、「広報紙、パンフレット、ポスター」(22.9%)と続いている。



「その他」としては、「学校教育」「地域活動等への支援」等の回答が見られた。

《男女共同参画に関する意識について》

＜男女共同参画に関する意識の状況＞

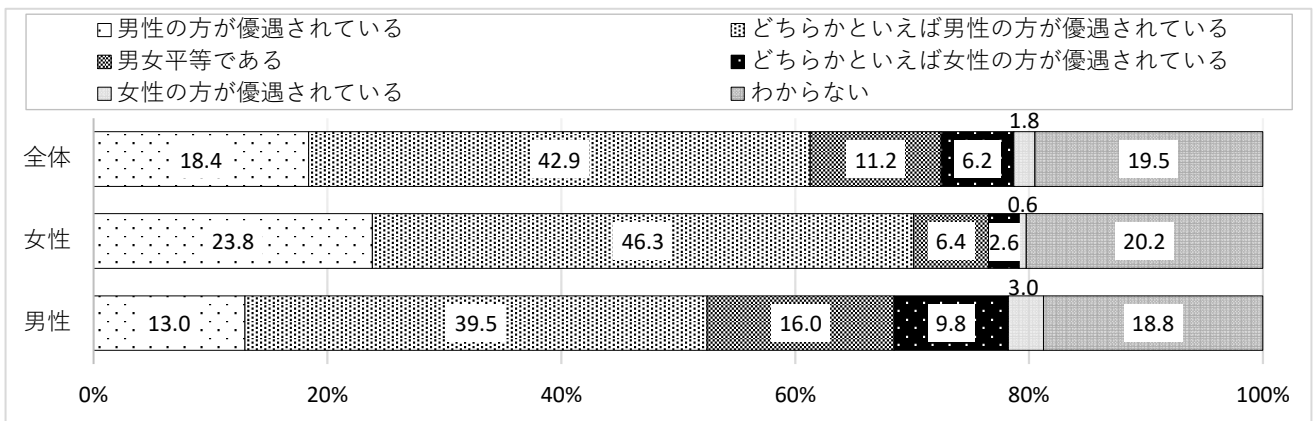
「男性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が約6割

問7 あなたは、社会全体を見た場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。当てはまるものを選んでください。

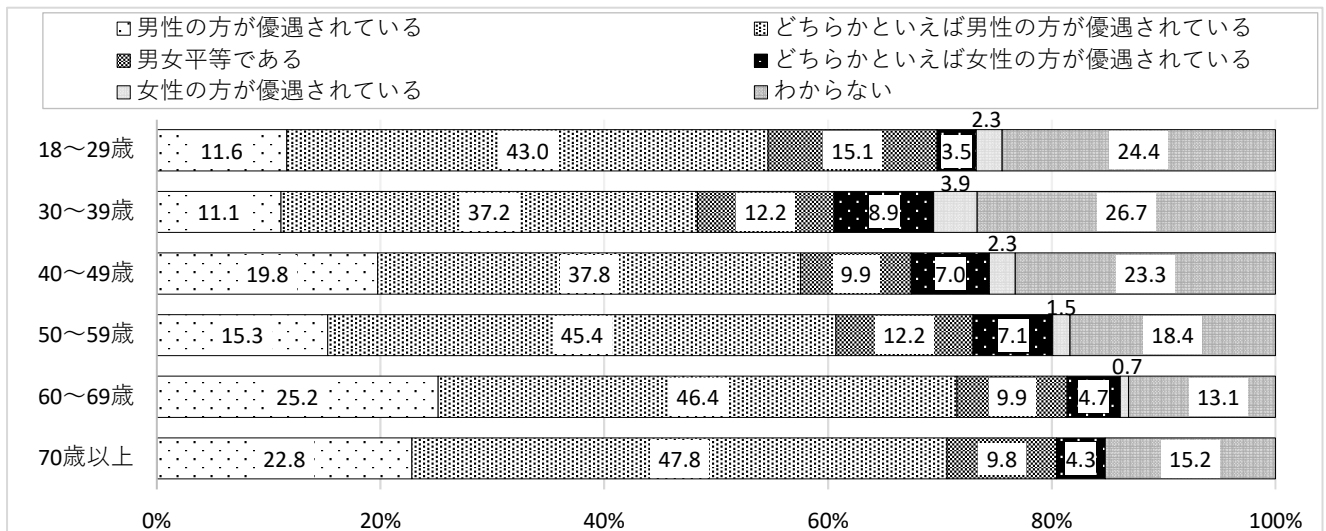
	今回調査 n=1,000		(参考) R1県民意識調査 n=1,059	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
男性の方が優遇されている	184	18.4	160	15.1
どちらかといえば男性の方が優遇されている	429	42.9	626	59.1
男女平等である	112	11.2	100	9.4
どちらかといえば女性の方が優遇されている	62	6.2	36	3.4
女性の方が優遇されている	18	1.8	6	0.6
わからない	195	19.5	111	10.5
無回答	-	-	20	1.9

●「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた割合は61.3%であり、「男女平等である」の割合は11.2%となっている。

●男女別では、「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた割合は女性(70.1%)と男性(52.5%)で17.6ポイントの差となっている。



●年代別では、「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた割合が最も高いのは60～69歳(71.6%)、次いで70歳以上(70.6%)であり、「男女平等である」の割合が最も高いのは18～29歳(15.1%)となっている。

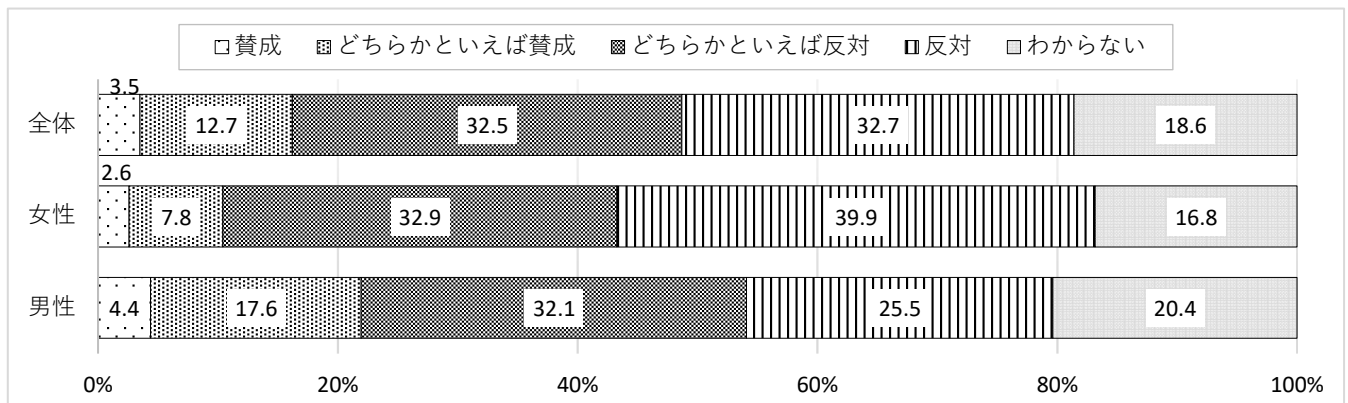


<固定的性別役割分担意識の状況>
「反対」と「どちらかといえば反対」が合わせて6割超

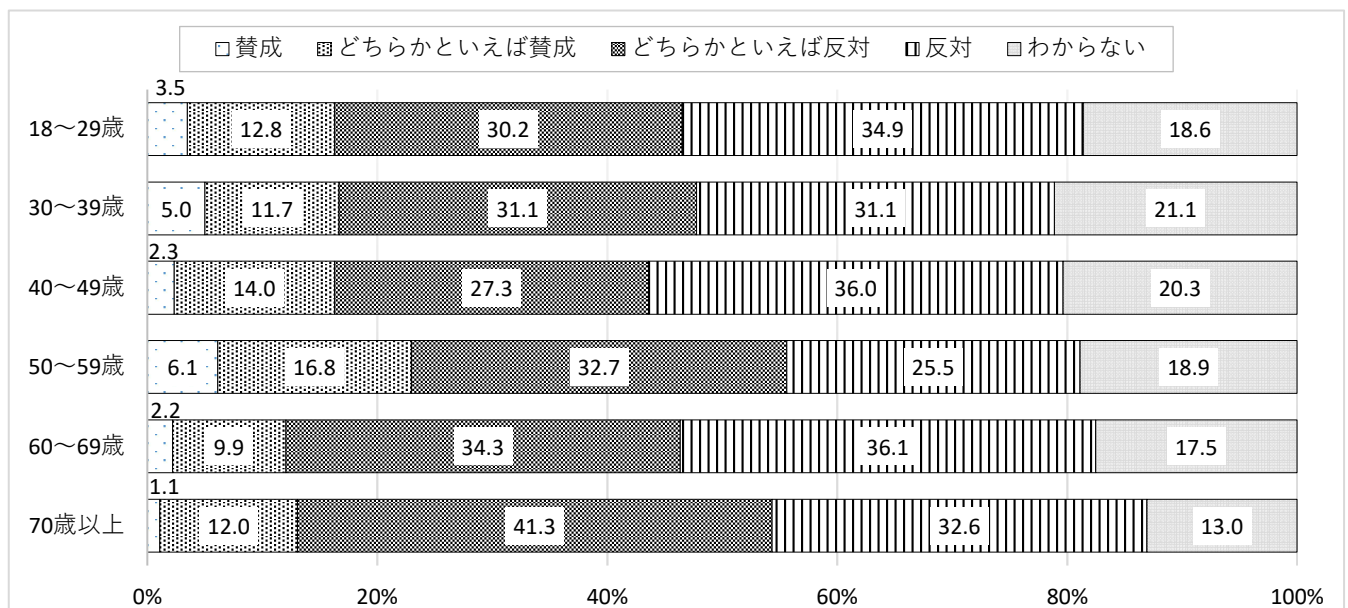
問8 あなたは、「男は仕事、女は家庭」のような、性別によって役割を固定する考え方について、どう思いますか。当てはまるものを選んでください。

	今回調査 n=1,000		(参考) R1県民意識調査 n=1,059	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
賛成	35	3.5	28	2.6
どちらかといえば賛成	127	12.7	191	18.0
どちらかといえば反対	325	32.5	385	36.4
反対	327	32.7	338	31.9
わからない	186	18.6	108	10.2
無回答	-	-	9	0.8

- 「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は65.2%となっている。
- 男女別では、「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は女性(72.8%)と男性(57.6%)で15.2ポイントの差となっている。



- 年代別では、「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合が最も高いのは50～59歳(22.9%)で、「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合が最も高いのは70歳以上(73.9%)、次いで60～69歳(70.4%)となっている。



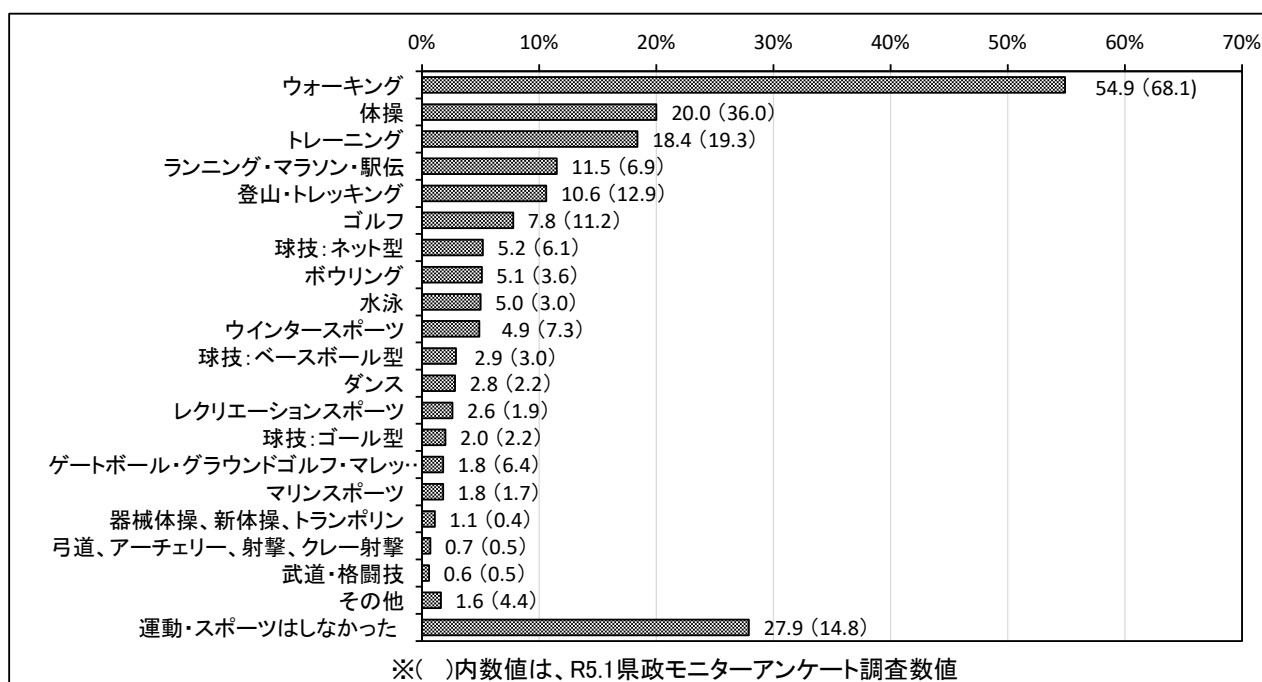
《運動・スポーツに関する実感について》

＜この1年間に行った運動・スポーツの種類＞
「ウォーキング」が5割超、「体操」が約2割

問9 以下の中であなたがこの1年間に行った運動やスポーツがあれば、当てはまるものを選んでください。ただし、学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。(いくつでも)

	今回調査 n=1000		(参考)R5.1県政モニターアンケート調査 n=822	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)	549	54.9	560	68.1
体操(ラジオ体操、ご当地オリジナル体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びなど)	200	20.0	296	36.0
トレーニング(筋肉トレーニング、トレッドミル、室内運動器具を使ってする運動など)	184	18.4	159	19.3
ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝	115	11.5	57	6.9
登山・トレッキング(クライミング含む)、キャンプ、ハイキング、ワンダーフォーゲル	106	10.6	106	12.9
ゴルフ(コース・練習場)	78	7.8	92	11.2
球技:ネット型(バレーボール、テニス、バドミントン、卓球など)	52	5.2	50	6.1
ボウリング	51	5.1	30	3.6
水泳(競泳・水球・飛込・アーティスティックスイミング、アクアエクササイズなど)	50	5.0	25	3.0
ウィンタースポーツ(スキー・スノーボード・スケート・アイスホッケー・カーリングなど)	49	4.9	60	7.3
球技:ベースボール型(野球(硬式・軟式)・ソフトボール(キャッチボールなど含む))	29	2.9	25	3.0
ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンスなど)	28	2.8	18	2.2
レクリエーションスポーツ(ティーボール・インディアカ・スポーツチャンバラ・ボッチャ・スポーツ吹矢・ドッジボールなど)	26	2.6	16	1.9
球技:ゴール型(サッカー・フットサル、バスケットボールなど)	20	2.0	18	2.2
ゲートボール・グラウンドゴルフ・マレットゴルフ・パターゴルフ・スナッグゴルフなど	18	1.8	53	6.4
マリンスポーツ(ボート・カヌー・ヨット・水上スキー・ダイビング・サーフィン・釣りなど)	18	1.8	14	1.7
器械体操、新体操、トランポリン	11	1.1	3	0.4
弓道、アーチェリー、射撃、クレー射撃	7	0.7	4	0.5
柔道、剣道、空手、相撲、ボクシング、レスリング	6	0.6	4	0.5
その他:	16	1.6	36	4.4
この1年間に運動・スポーツはしなかった	279	27.9	122	14.8

●「ウォーキング」が54.9%と最も高く、次いで「体操」(20.0%)、「トレーニング」(18.4%)となっており、生活リズムに合わせて身近で手軽にできる運動・スポーツの人気傾向が続いている。一方、「運動・スポーツはしなかった」が高い数字を示した。



その他としては、「ヨガ」「サイクリング」「ピラティス」「ボルダリング」等の回答が見られた。

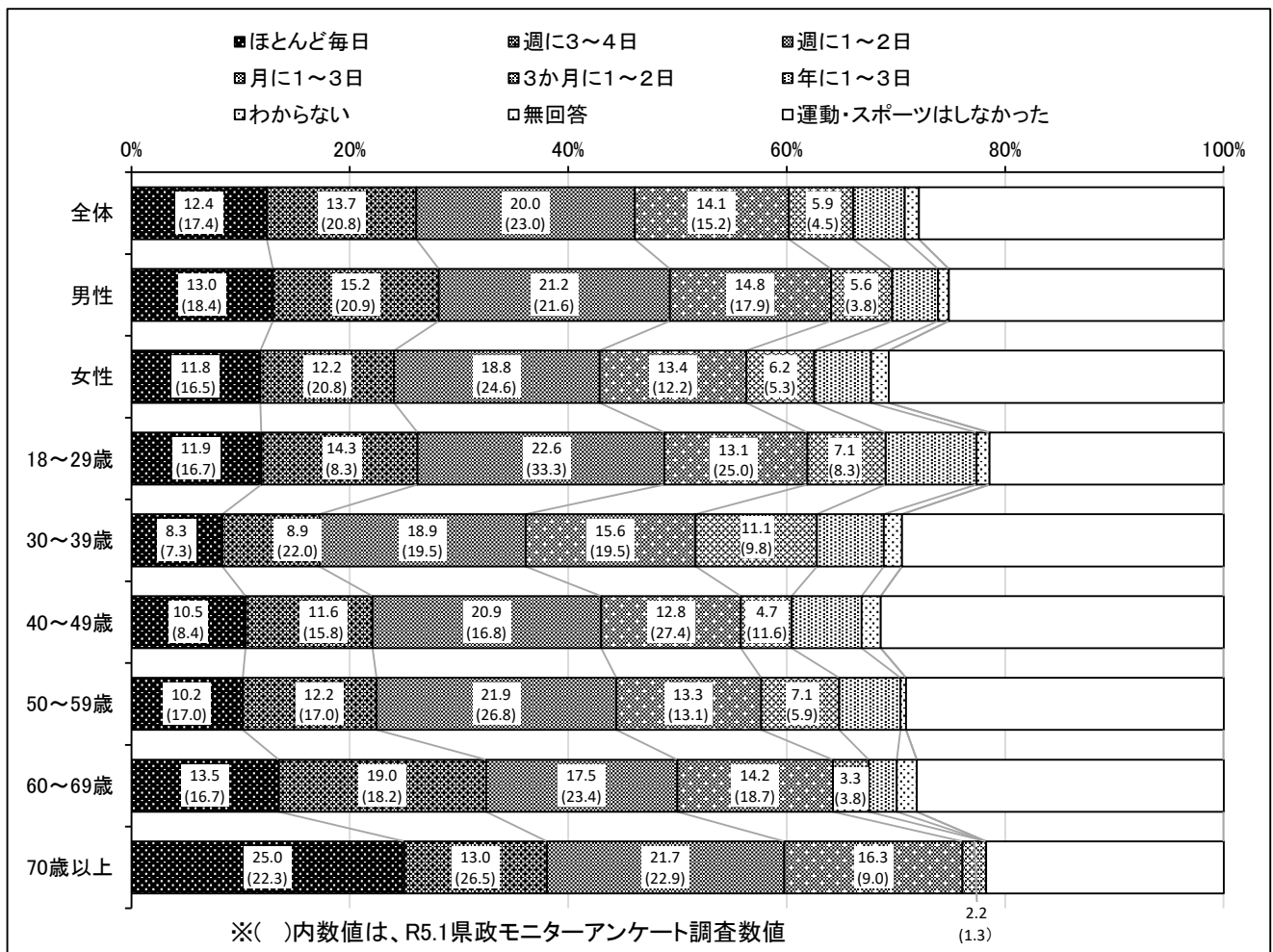
<この1年間に運動・スポーツを行った日数>
週1日以上行っている人が5割弱

問10 前問であげた種目を含め、あなたはこの1年間に運動・スポーツを何日程度行いましたか。当てはまるものを選んでください。

	今回調査 n=1000		(参考)R5.1県政モニターアンケート調査 n=822	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
ほとんど毎日	124	12.4	143	17.4
週に3～4日	137	13.7	171	20.8
週に1～2日	200	20.0	189	23.0
月に1～3日	141	14.1	125	15.2
3カ月に1～2日	59	5.9	37	4.5
年に1～3日	47	4.7	25	3.0
わからない・このなかにはない	13	1.3	6	0.7
無回答	0	0.0	4	0.5
この1年間に運動・スポーツはしなかった(※)	279	27.9	122	14.8

※問9で「この1年間に運動・スポーツはしなかった」を選択した人(279人)も含めて割合算出

●週1日以上運動・スポーツを行っている人の割合(スポーツ実施率)は46.1%(R5.1県政モニターアンケート調査比-15.1)で、「第3次長野県スポーツ推進計画」の令和9年度目標である70%を大きく下回った。「週1日以上」の年齢別では、R5.1県政モニターアンケート調査同様に70歳以上が59.7%と最も高く、最も低い年齢層は30歳代の36.1%であった。



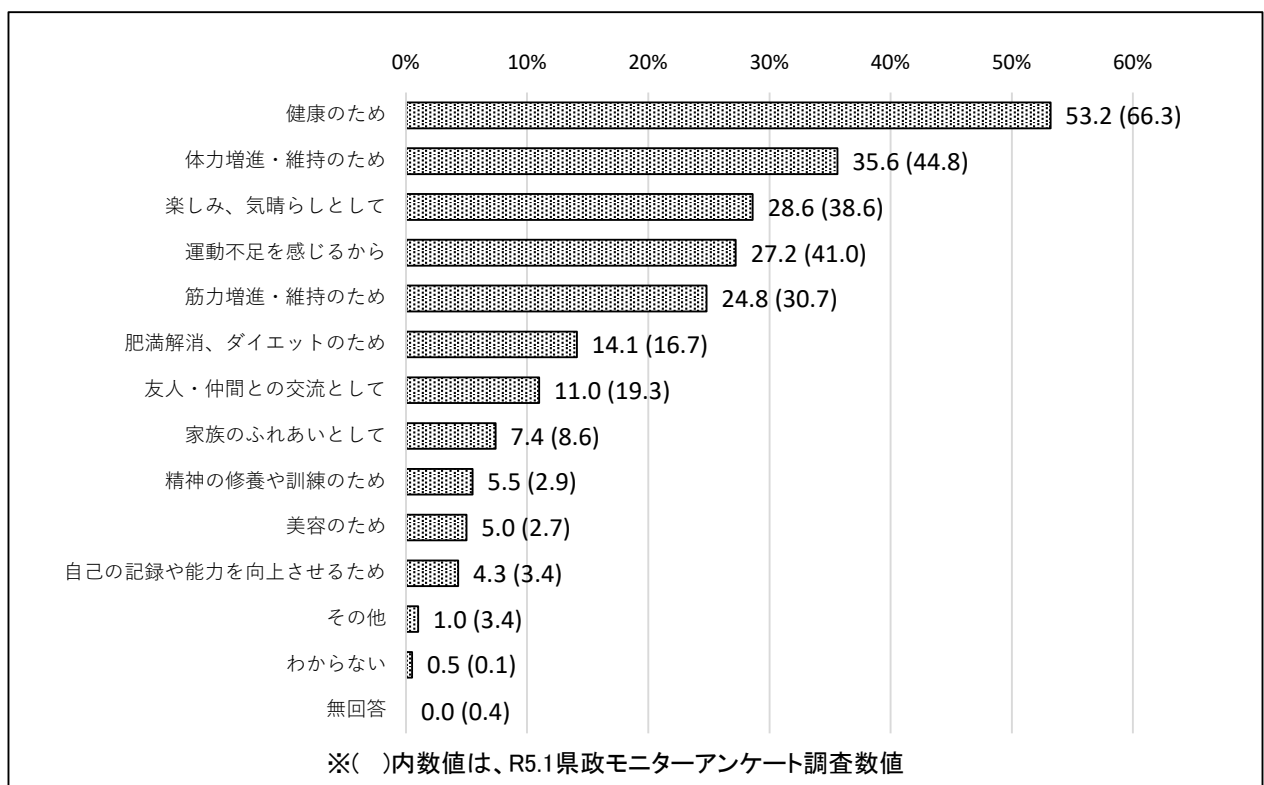
<この1年間に運動・スポーツを行った理由>
 「健康のため」が5割超、「体力増進・維持のため」が3割超

問11 この1年間に、あなたが運動やスポーツを実施したのはどのような理由からですか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=1000		(参考)R5.1県政モニターアンケート調査 n=822	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
健康のため	532	53.2	545	66.3
体力増進・維持のため	356	35.6	368	44.8
楽しみ、気晴らしとして	286	28.6	317	38.6
運動不足を感じるから	272	27.2	337	41.0
筋力増進・維持のため	248	24.8	252	30.7
肥満解消、ダイエットのため	141	14.1	137	16.7
友人・仲間との交流として	110	11.0	159	19.3
家族のふれあいとして	74	7.4	71	8.6
精神の修養や訓練のため	55	5.5	24	2.9
美容のため	50	5.0	22	2.7
自己の記録や能力を向上させるため	43	4.3	28	3.4
その他	10	1.0	28	3.4
わからない	5	0.5	1	0.1
無回答	0	0.0	3	0.4
この1年間に運動・スポーツはしなかった(※)	279	27.9	122	14.8

※問9で「この1年間に運動・スポーツはしなかった」を選択した人(279人)も含めて割合を算出

●「健康のため」が53.2%と最も高く、次いで「体力増進・維持のため」(35.6%)、「楽しみ、気晴らしとして」(28.6%)、「運動不足を感じるから」(27.2%)となっている。健康志向の理由が上位を占めている。



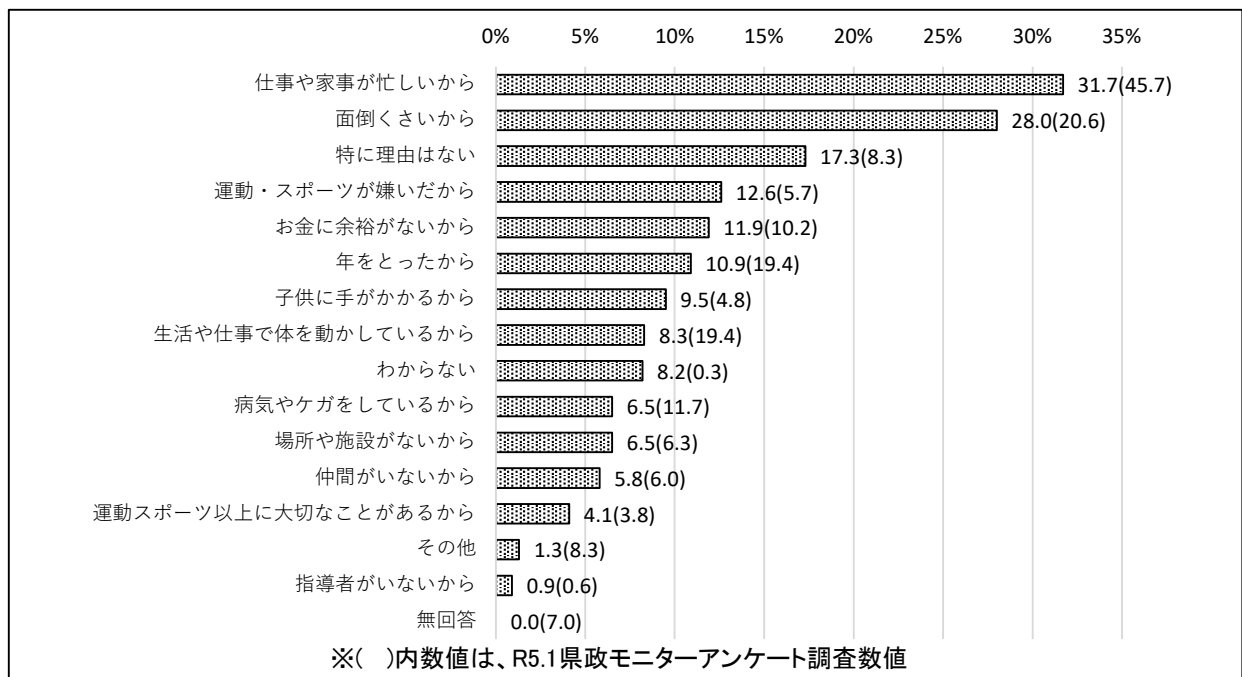
その他としては、「犬の散歩」等の回答が見られた。

＜この1年間に行った運動・スポーツを週に1日以上できなかった理由＞
 「仕事や家事が忙しいから」「面倒くさいから」が約3割、「特に理由はない」が2割弱

問12 問9で①又は問10で④～⑦のいずれかを回答した方に伺います。週に1日以上運動・スポーツを実施できなかった理由は何ですか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=539		(参考)R5.1県政モニターアンケート調査 n=315	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
仕事や家事が忙しいから	171	31.7	144	45.7
面倒くさいから	151	28.0	65	20.6
特に理由はない	93	17.3	26	8.3
運動・スポーツが嫌いだから	68	12.6	18	5.7
お金の余裕がないから	64	11.9	32	10.2
年をとったから	59	10.9	61	19.4
子供に手がかかるから	51	9.5	15	4.8
生活や仕事で体を動かしているから	45	8.3	61	19.4
わからない	44	8.2	1	0.3
病気やケガをしているから	35	6.5	37	11.7
場所や施設がないから	35	6.5	20	6.3
仲間がいないから	31	5.8	19	6.0
運動スポーツ以上に大切なことがあるから	22	4.1	12	3.8
その他	7	1.3	26	8.3
指導者がいないから	5	0.9	2	0.6
無回答	0	0.0	22	7.0

●「仕事や家事が忙しいから」が31.7%と最も高く、次いで「面倒くさいから」(28.0%)、「特に理由はない」(17.3%)、「運動・スポーツが嫌いだから」(12.6%)となっている。



その他としては「習慣がない」「家族の介護」等の回答が見られた。

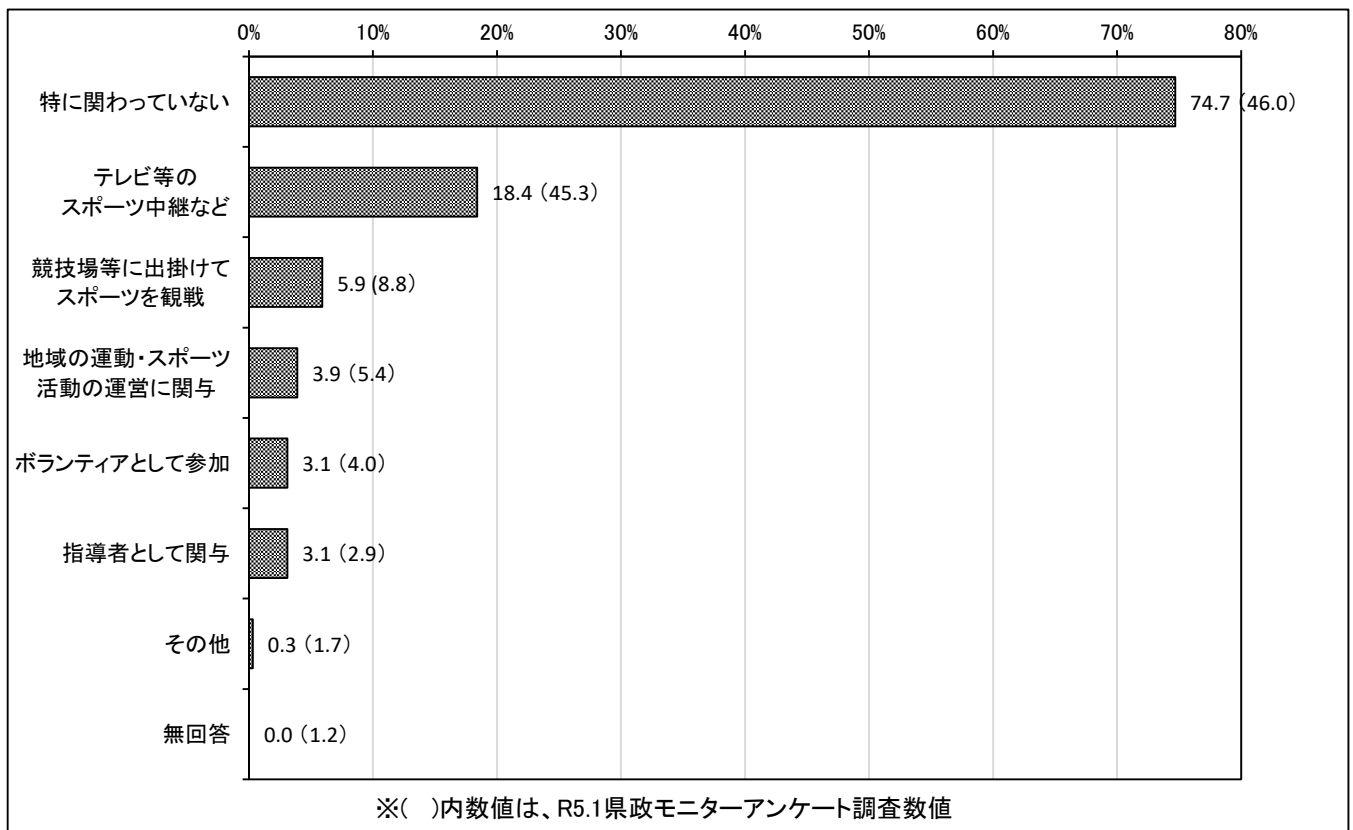
＜運動・スポーツをする以外の関わり方＞

「テレビ等により日常的にスポーツ中継やスポーツ情報に接している」が約2割、「特に関わっていない」が7割超

問13 あなたは自ら運動・スポーツをする以外に、運動・スポーツにどのような関わり方をしていますか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=1000		(参考)R5.1県政モニターアンケート調査 n=822	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
特に関わっていない	747	74.7	378	46.0
テレビ等により日常的にスポーツ中継やスポーツ情報に接している	184	18.4	372	45.3
競技場等に出掛けて、スポーツを観戦している	59	5.9	72	8.8
地域の運動・スポーツ活動の運営に携わっている	39	3.9	44	5.4
各種運動・スポーツ行事、大会、教室等へボランティアとして参加している	31	3.1	33	4.0
指導者として関わっている	31	3.1	24	2.9
その他	3	0.3	14	1.7
無回答	0	0.0	10	1.2

●「特に関わっていない」が74.7%と最も高く、次いで「テレビ等により日常的にスポーツ中継やスポーツ情報に接している」が18.4%、「競技場等に出掛けてスポーツを観戦している」が5.9%となっている。



その他としては「応援に関わることがある」等の回答が見られた。

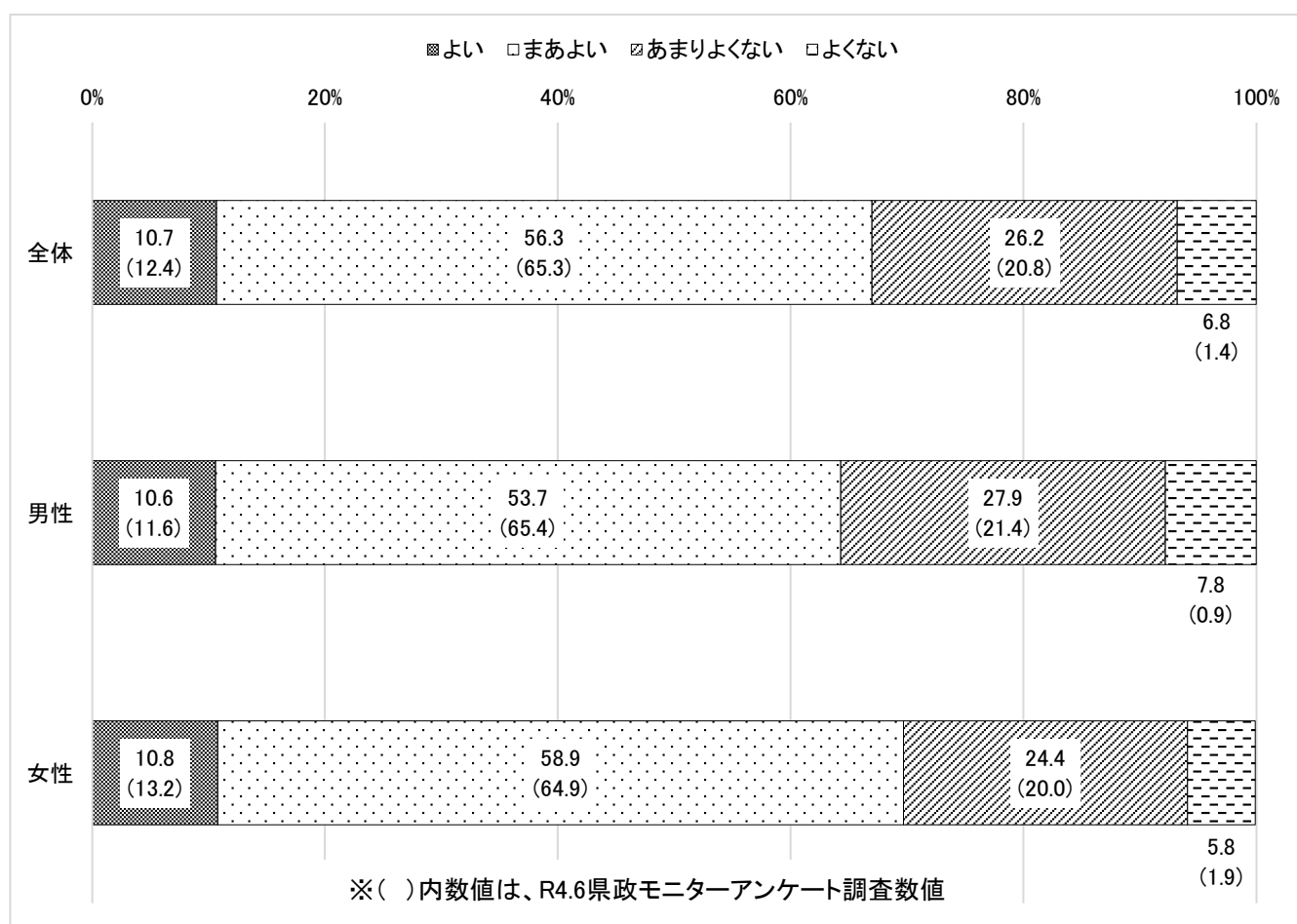
《健康づくりについて》

＜自分の健康状態をどのように感じているか＞
「よい」、「まあよい」と感じている人は7割弱

問14 あなたはご自分の健康状態をどのように感じていますか。当てはまるものを選んでください。

	今回調査 n=1000		(参考)R4.6県政モニターアンケート調査 n=862	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
よい	107	10.7	107	12.4
まあよい	563	56.3	563	65.3
あまりよくない	262	26.2	179	20.8
よくない	68	6.8	12	1.4
無回答	0	0.0	1	0.1

●自分の健康状態を「よい」、「まあよい」と感じている割合は67.0%であり、R4.6県政モニターアンケート調査（77.7%）より減少している。



＜健康の維持・増進に関して取り組んでいることについて＞
「食生活に関すること」「飲酒に関すること」「健康診断受診に関すること」の「取り組んでいる」、「少し取り組んでいる」を合わせた割合が約7割

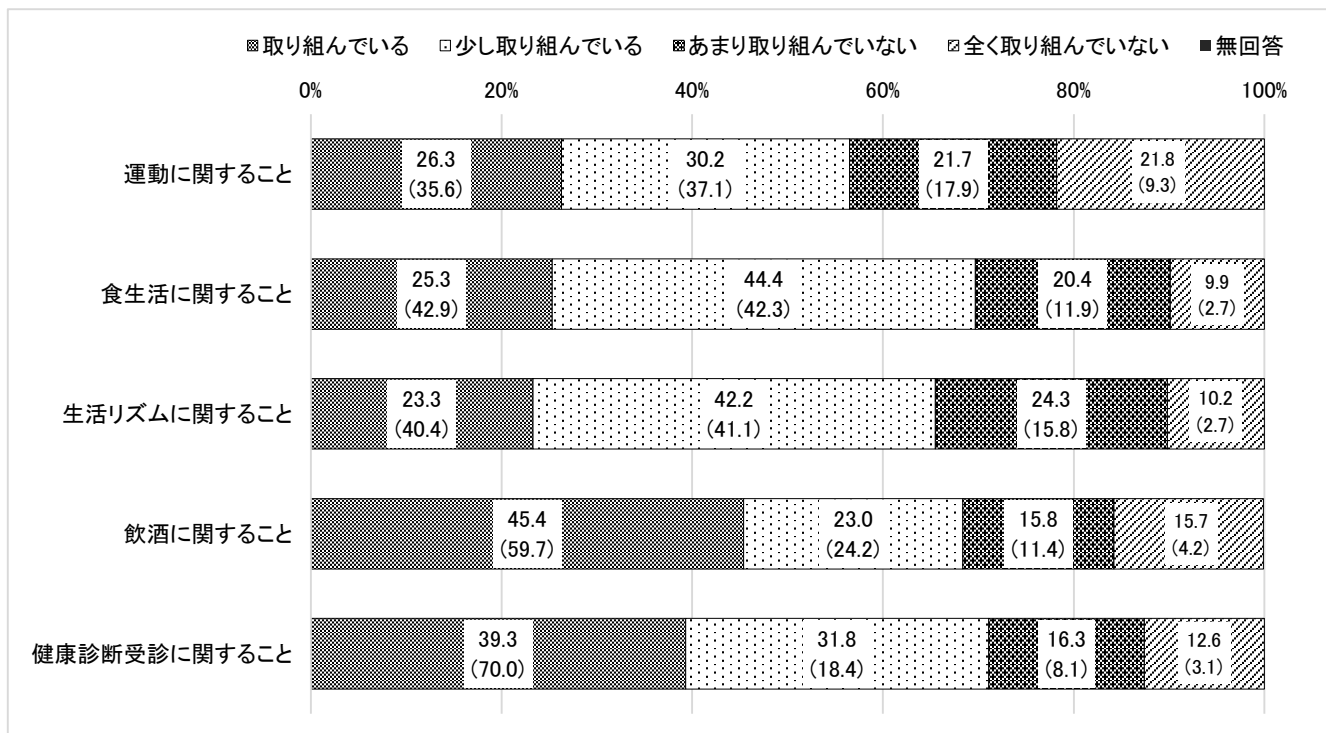
問15 あなたは、現在(または過去1年間)、次の中で取り組んでいることがありますか。(1)～(5)のそれぞれについて、該当するものを選んでください。

n=1000 (※飲酒に関することはn=998)	回答数(人)					割合(%)				
	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答
運動に関すること	263	302	217	218	-	26.3	30.2	21.7	21.8	-
食生活に関すること	253	444	204	99	-	25.3	44.4	20.4	9.9	-
生活リズムに関すること	233	422	243	102	-	23.3	42.2	24.3	10.2	-
飲酒に関すること(※)	453	230	158	157	-	45.4	23.0	15.8	15.7	-
健康診断受診に関すること	393	318	163	126	-	39.3	31.8	16.3	12.6	-

(参考)R4.6県政モニターアンケート調査

n=862	回答数(人)					割合(%)				
	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答
運動に関すること	307	320	154	80	1	35.6	37.1	17.9	9.3	0.1
食生活に関すること	370	365	103	23	1	42.9	42.3	11.9	2.7	0.1
生活リズムに関すること	348	354	136	23	1	40.4	41.1	15.8	2.7	0.1
飲酒に関すること	515	209	98	36	4	59.7	24.2	11.4	4.2	0.5
健康診断受診に関すること	603	159	70	27	3	70.0	18.4	8.1	3.1	0.3

●「運動」「食生活」「生活リズム」「飲酒」「健康診断受診」に関することについて「取り組んでいる」または「少し取り組んでいる」は、それぞれ56.5%、69.7%、65.5%、68.4%、71.1%で、「運動」に関することを除き6割以上となっている。



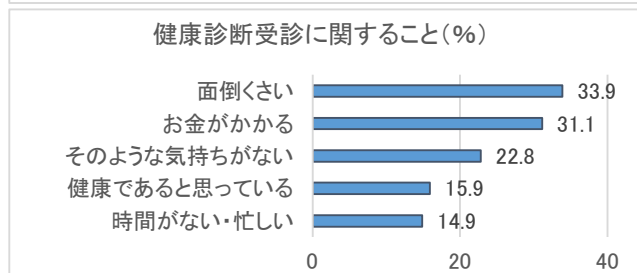
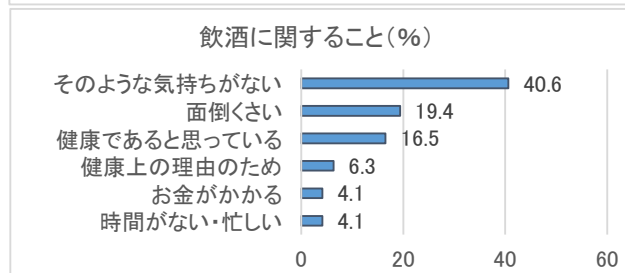
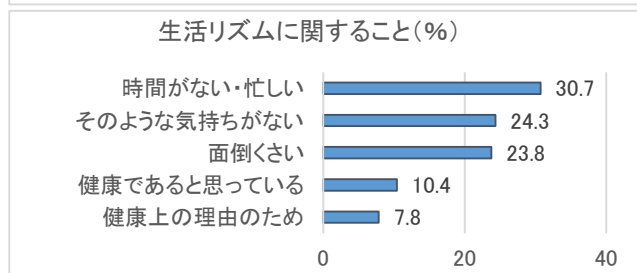
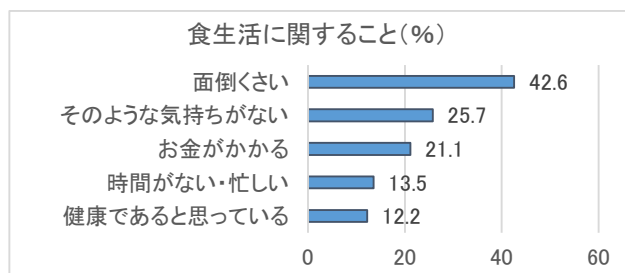
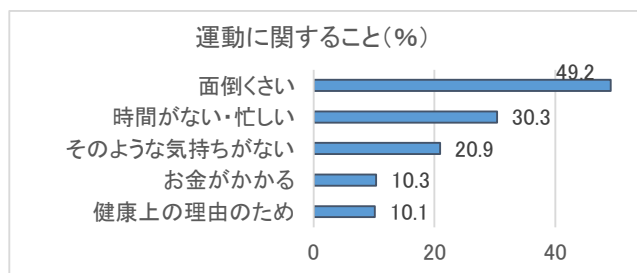
※()内数値は、R4.6県政モニターアンケート調査数値

＜健康の維持や増進に関することに取り組まない理由＞
「面倒くさい」は運動に関することで約5割、食生活に関することで4割超

問16 前問の(1)から(5)の項目の内、1項目でも「3.あまり取り組んでいない」か「4.全く取り組んでいない」を回答した方は、その理由を選んでください。(いくつでも)

	運動に関すること n=435		食生活に関すること n=303		生活リズムに関すること n=345		飲酒に関すること n=315		健康診断受診に関すること n=289	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
健康上の理由のため	44	10.1	15	5.0	27	7.8	20	6.3	13	4.5
時間がない・忙しい	132	30.3	41	13.5	106	30.7	13	4.1	43	14.9
場所がない	23	5.3	8	2.6	7	2.0	7	2.2	10	3.5
面倒くさい	214	49.2	129	42.6	82	23.8	61	19.4	98	33.9
仲間がいない	21	4.8	9	3.0	7	2.0	10	3.2	5	1.7
お金がかかる	45	10.3	64	21.1	17	4.9	13	4.1	90	31.1
そのような気持ちがない	91	20.9	78	25.7	84	24.3	128	40.6	66	22.8
感染症が心配で外出を控えているため	9	2.1	5	1.7	9	2.6	5	1.6	10	3.5
健康であると思っているから	35	8.0	37	12.2	36	10.4	52	16.5	46	15.9
その他	8	1.8	3	1.0	19	5.5	39	12.4	6	2.1

●「運動」「食生活」「健康診断受診」に関することについて、「面倒くさい」が49.2%、42.6%、33.9%と最も多くなっている。

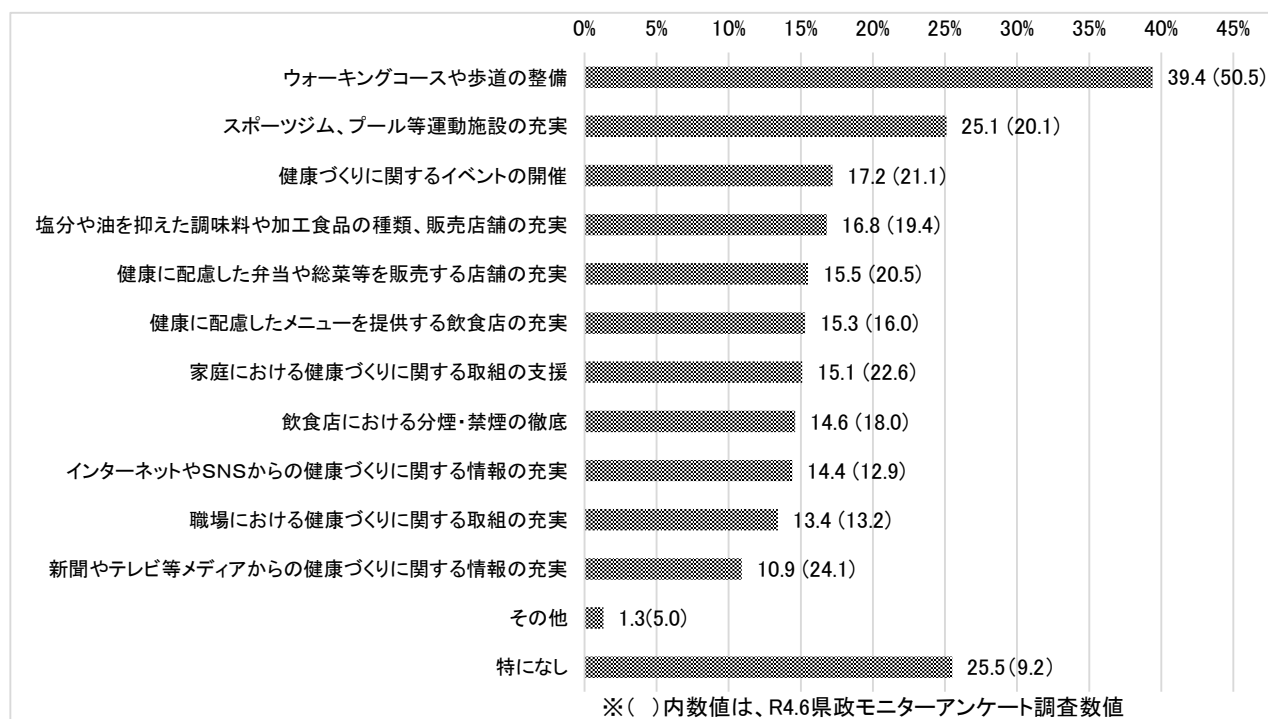


＜健康づくりを進める上で必要な環境づくり＞
「ウォーキングコースや歩道の整備」が約4割、「スポーツジム、プール等運動施設の充実」が2割超

問17 あなたは、ご自身の健康づくりを進める上で、どのような環境づくりが必要だと思いますか。当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	今回調査 n=1000		(参考)R4.6県政モニターアンケート調査 n=862	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
ウォーキングコースや歩道の整備	394	39.4	435	50.5
スポーツジム、プール等運動施設の充実	251	25.1	173	20.1
健康づくりに関するイベントの開催	172	17.2	182	21.1
塩分や油を抑えた調味料や加工食品の種類、販売店舗の充実	168	16.8	167	19.4
健康に配慮した弁当や総菜等を販売する店舗の充実	155	15.5	177	20.5
健康に配慮したメニューを提供する飲食店の充実	153	15.3	138	16.0
家庭における健康づくりに関する取組の支援	151	15.1	195	22.6
飲食店における分煙・禁煙の徹底	146	14.6	155	18.0
インターネットやSNSからの健康づくりに関する情報の充実	144	14.4	111	12.9
職場における健康づくりに関する取組の充実	134	13.4	114	13.2
新聞やテレビ等メディアからの健康づくりに関する情報の充実	109	10.9	208	24.1
その他	13	1.3	43	5.0
特になし	255	25.5	79	9.2
無回答	0	0.0	8	0.9

●「ウォーキングコースや歩道の整備」が、39.4%と最も高く、次に「スポーツジム、プール等運動施設の充実」(25.1%)、「健康づくりに関するイベントの開催」(17.2%)が続いている。



＜コロナ禍での体調変化＞

「変わらない」が約8割であり、「悪くなった」が1割超

問18 あなたは、コロナ禍以前と比べ体調の変化をどのように感じていますか。当てはまるものを選んでください。「③悪くなった」を回答した方は、その理由を具体的に記載してください。

	今回調査 n=1000		(参考)R4.6県政モニターアンケート調査 n=862	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
よくなった	63	6.3	33	3.8
変わらない	801	80.1	725	84.1
悪くなった	136	13.6	96	11.1
無回答	0	0.0	8	0.9

●コロナ禍での体調変化について、「変わらない」が80.1%と最も高かった。「悪くなった」女性は12.6%とR4.6県政モニターアンケート調査の15.4%より減少した一方、男性は14.6%と7.2%より増加している。

●「悪くなった理由」として「運動不足や筋力低下」等の回答があった。

